

平成 28 年度

自己評価表

学校法人 愛知理容学園
アリアーレビューティール専門学校

1. 学校の教育目標

- 礼儀正しい人材の育成
- スペシャリストとしての即戦力となる人材の育成
- 就職、各種検定の全員合格

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 国家試験100%合格の継続
- 競技大会上位入賞
- 接遇マナー習慣づけ
- 清掃・整理整頓

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	3
学校における職業教育の特色は何か	3
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	2
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

- 本校は教育基本法に則り学校教育法並びに理容師法・美容師法に基づき、理容師・美容師の養成に関する教育を施すことを目的としている（学則第3条）。
- 理念として「私達は社会の一員として広い視野と教養をもって「人間の美を創る」ことにつとめます」「常に一層高い技術と洗練された感覚をもって文化と公衆衛生の向上につとめます」「和をもって団結し、真と善をもって人に接し、平素の修養を怠りません」と定めている。
- 本校の理念や目的等は入学式前に入学者・保護者説明会を開催し、将来における理容師・美容師の社会的役割と合わせて周知を行っているが、卒業予定者アンケートの結果では、「本校の教育方針・理念の内容を知っている」「本校の教育方針・理念の内容に共感できる」の間に対し、ほとんどの卒業生が「まったくそう思わない」と回答している。入学後の落とし込みがまったくなされていない。平成30年4月生向けのパンフレットには3年ぶりに記載し、入学前から落とし込みを図る。今後は、始業式等学校行事の際は学生・教職員全員で唱和をしていく。

- 本校の職業教育の特色として、関連企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組めるよう、業界・企業等から十分な協力を得て教育課程等を設定している。理容師・美容師国家試験合格を第一に、理美容に関する内容を総合的に習得できるよう、業界等との協調体制をもって社会経済におけるニーズを把握しカリキュラムに反映している。職業現場に一番近い学校を目指している。

(2) 学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目標等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が制定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
人事、給与に関する規定等は整備されているのか	2
教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

- 職員会議等教職員間の共有を図る場がほとんどなく、また理事会での質疑も学校運営に係る内容が少ないため、重点的に取り組むことが必要な目標や計画を役員含め全教職員が理解していない面が一部ある。今後は最低月1回行うようにする。
-
- 実際の運営に関しては、目標、事業計画等を関連させて優先順位を検討した上、理事会の承認を得て実施している。
- 組織図はあるものの、以前はあった役員間の役割分担すら機能しておらず、運営組織や意思決定機能は規則等において明確にされているが、十分効率的に機能しているとはいいがたい。
- 人事・給与に関する制度は整備されており、就業規則はじめ各種諸規定を表面的に一定要件内は定めている。しかし、業務内容・実績等による人物評価を賞与・昇給に反映させる際、評価を行う「基準」と「ものさし」をどう決めているのか、管理者は、部下に任せている業務の難易度について把握できているのか等、「納得」できる説明を評価者が被評価者に行っていない。評価制度に関心がある者、ない者に差もある。

- コンプライアンス体制については外部有識者による委員会を整備し、全教職員は職務に係る倫理を自覚し、学生、卒業生、保護者並びに地域社会から信頼と尊敬を得るために自律的に行動することを目的として、この行動規範を定めコンプライアンス宣言を行いホームページ上で公開している。
- 情報システムについては、学籍管理システム、財務会計システム等により効率的に運用している。学生の出退校時間を本人の携帯電話等操作で管理し、毎日の遅刻・欠席確認及び退学防止に役立てている。
- 日々の教育活動については、月曜日～金曜日まで学校HPにおいてブログ・FBを活用して情報公開をしている。また年2回学園新聞を発行し、保護者・地域住民・高等学校等へ配布している。28年度よりツイッターも利用している。

(3) 教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3

- 当然のことではあるが、教育機関の使命として、「国家試験全員合格」「競技大会上位入賞」「マナー習慣づけ」「整理整頓」を目標に掲げ、個々の学生に対して習熟度・理解度を把握し、入念なサポート体制を確立しているが本人等の意欲の問題から継続して技術アップ等の落とし込み・練習ができていない面もある。技能五輪全国大会では愛知県選手で初めて優秀賞をいただく。
- 教員についてはより一層、人員確保に取り組んでいます。研修にも積極的に参加し、能力開発にも努めています。（愛知県専修学校各種学校連合会 准教員研修等）また、当校が主体的に取り組んでいる互換授業（理容科学生に美容分野の学びを、またその逆。）を通して、教員が理容・美容の垣根なく技術や授業についての意見交換を行い、常に授業方法や指導について意見交換を行っている。
- 産学連携に関して、「産学連携授業」「都道府県内企業とのフィールドワーク」を念頭に、新たに「愛知県美容組合」様、「華道家元池坊」様等のご協力をいただき、幅を広げている。
- 授業評価の実施については、卒業式間際のアンケートのみであるが、各学期定期試験終了時に全学生と学習面や生活面等、色々な視点での個別面談を28年度より実施している。
- 関連分野における業界等との連携であるが、幼稚園から大学まで総合学園を有する学校法人 菊武学園様の系列校「名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院」と包括業務提携を締結しました。相互間での授業交換、学生交流や就職先の紹介、また学生募集等、国家試験に強みを持つ弊社とエステ・ネイル・ブライダルの衛生分野で多くの学生を輩出する菊武学園様との間で一般的には珍しい専門学校間での連携になる。
- 教職員研修は実施しているものの、その効果測定は実施できていない。有効な研修であったのか、費用対効果の検証も必要に感じる。
- 教職員研修は書面にて目標・目的等は整備されているが、新入教職員に対する学内OFFJT、OJT訓練が足りていない。最低限の教育がされていないにも関わらず、担任業務等現場に配属するため、本人及び学生が戸惑い、対応が後手になっている。職員会議が行われていないため、情報交換ができていない。

(4) 学修成果

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4

退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 就職希望者の就職率は高く100%を維持している。学生の就職活動は1年次よりガイダンスやインターンシップを行う等、学生の就職意識を高めている。また、学生個々において将来の希望などの聞き取りを行い、内定に至るまで丁寧にサポートしている。卒業後は、職業訓練法人による技術サポートを行い、最新のファッション、トレンドを伝える場を設けている。
- 理容師・美容師国家試験については毎回高い合格率をあげております。教員側においても試験内容の研究を行うなど、全員合格を目指し努力しています。
- 退学率の低減については現在最重要課題としており、当校への入学に至っての経緯や、学生の環境を分析対策し、退学に至らないよう担任を中心に指導内容の改善を図る。ただ学園上層部から「今からどうする」「明日からどうする」の具体的な案や指示はない。謝罪等の弁よりも失敗を活かす対策が必要だがそれが見えない。現在、万が一、中途退学に至った場合、校長及びクラス担任が出身高校へ出向き事情を説明、事後対応はしている。課題として、学生本人との連絡はできているが、保護者向けへの対応が遅く、中途退学の防止に何らかの歯止めがかかっているとまでは言えない。29年度から予定している年2回の学生・教員面談を保護者を含む3者面談に変更する。
- 卒業生については、近況や現在の環境等を卒業後半年以内に1回目の現況調査を行っている。離職率をできるだけ避けたい目的であるとともに、同窓の輪をつなげたい考えから実施している。また卒業生で、技術コンテスト等上位入賞者には在校生に技術指導にあたる機会を設ける。

(5) 学生支援

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

- 就職活動支援として担任が個別対応しながら就職活動をバックアップしている。当校に設置されている後援会組織によって多くの就職先を確保している。
- 学生相談は、技術のことから身近なことまで担任だけではなく、すべての教職員が常に親身になって答えています。大きな問題は共有して解決していくようにしています。ただ体制と言われるほどの形態には発展していない。
- 経済面の支援については、公的奨学金の他に当校独自の奨学支援制度を設け、経済的支援を行っています。また、「雇用保険法」専門実践教育講座指定の「教育訓練給付金」制度が利用でき、社会人の方のキャリアアップのチャンスを応援している。「自立支援」コースと称し、理美容サロンへの住み込み制度も整えている。
- 健康管理については年に一度健康診断を実施している。また感染症が流行している期間等には玄関や教室に消毒薬を設置し感染を防ぐよう指導している。
- 学生の生活環境への支援として、学生寮を徒歩で3分以内に2棟の提携寮を用意している。寮の業務委託先企業とは連携して学生の管理をしています。
- 28年度より「学校公開日」と称し、6月と1月の2回、保護者様や評価委員の皆さま、高校の先生等を招待した授業参観を実施いたしました。開かれた学校づくりを目指して、様々な情報を保護者や地域の方に積極的に発信し、教育に欠かせない「信頼関係」を築いている。
- 卒業生のリカレント教育として、アリアーレ理容美容職業訓練校を設置。就職後のスキルアップや復職を目指す理容師・美容師を支援しています。
- 高校等の連携教育は、高校進路支援・大学専門学校広報事業等を業容とする会社様にご協力いただきながら出張授業や連携授業を実施しています。長期にわたる高校のカリキュラムにも参入しています。
- 課外活動は現在、軽音楽とフットサルの2種あります。全国専修学校各種学校連合会主催の大会等に参加し、目標を持った活動が大事かと思いますが、そこまでには至っておりません。

(6) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4

防災に対する体制は整備されているか	3
-------------------	---

- 設備・機器類は教育上の必要性に対応できるように整備されている。昨今、国家試験の変更で実習室での試験ではなくホール等の大教室で行っているため、同等の環境での指導は難しい。本校以外の他の養成施設その他面接授業を行う場所として適当と認められる施設（保健所・公民館等）を模索している。
- インターンシップとして後援会サロン等に数日にわたり実務実習を行っている。その際は、管理美容師・管理美容師を調査し、適切な管理のもとにおいて行われている。また、海外研修についてはヴィダルサスーンの研修をイギリス・ロンドンにて行いました。
- 防災・安全管理上においては、27年度は千種消防署にお越しいただき火災訓練を行い、28年度は熊本地震もあり、震災関連の避難訓練を実施、また食糧貯蔵の確認を行いました。

(7) 学生の受け入れ募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は、適切に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	4

- 学生募集活動について、ガイダンスの参加や学校訪問等において高等学校等に対する学校情報の説明に尽力している。またオープンキャンパスを実施し、技術体験、模擬授業受講などにおいて当校の特性を実感してもらえるよう工夫している。夏期以降の高校訪問が例年と比較し件数が減少、出願前のサポート体制に課題があった。
- 学納金については、教務、事務、広報それぞれの観点より適切に算定している。また、表示金額には必要材料費、諸費用を含めた明瞭なものになっている。
- 学納金返還の可否について最高裁が示した判断や消費者契約法を遵守している。
- 国家試験等の結果は%（率）だけでなく、極力実数での報告を心掛けている。

(8) 財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4

- 経費削減を図る一方で設備の充実と教育の強化を図りバランスをとっている。27年度自己評価にて、少子化問題、老朽化してくる施設、設備、教育上の必要性に十分対応ができるのか、また学生納付金収入に著しく偏った現在の経営では、学校運営が厳しくなることが予想され、収益事業の方向性を検討課題としたが、何ら進展しなかった。借入れも発生しており、財務が安定とは断言できない。
- 外部の会計事務所より月一回会計士指導を受けながら適正な会計処理を行っている。また、法人監査についても法人監事により年三回適正に行われているが、契約金額の妥当性について理事会での審議対象が不完全で、効率的かつ効果的な予算執行の観点から十分な検討が行われているとはいいがたい面がある。
- 部門別（理容科・美容科）の業績管理の導入は通帳を理容科・美容科、昼間生・通信生に分けたりして進めてはいるが、固定費の比率按分等やり切れていない。目標及び実績の細分化は、教職員に当事者意識を持ってもらうのには必要。
- 財務分析を行い収支バランスの観点からの課題（財務改善や業務改善）や学校法人としての戦略的な資源配分になっているのか、教務・広報部門の主管部門に対する事業計画・予算管理の有効性に関する監査等がなされているとは言えない。
- 財務情報の公開に関しては、私立学校法 47 条に基づき、利害関係者へ財務情報の公開を実施している。また、財務情報は学校ホームページに掲載し公開している。

（9）法令等の厳守

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	4

- 理容師法・美容師法や専修学校設置基準等を厳守し、適切な学校運営を行っている。
（平成 27 年 10 月、愛知県庁 健康福祉課の内部監査があり、おおむね良好の判断をいただく。）
- 個人情報に関しては、生徒及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止しています。また、卒業生の学籍簿に関しては施錠した保管庫に収納しています。入学前保護者会でも個人情報の扱いは説明している。

- 個人情報の取り扱いに関して、学校HP上等で学生たちの活動の様子である写真や作文を掲載することがあります。これらはその都度、公表について各家庭の意思確認はとっていません。掲載や公表を控えてほしい際は、申し出ていただくよう、入学前保護者会や学園新聞でお願いしている。
- 自己評価に関しては実施した結果を公表するようにしています。実施規定や体制には整備の余地があります。学校概要や教育内容等の情報はWEBで公開しており今後も随時更新していきます。
- 自己評価の実施からどのような意見をどう受け止め、さらにどのように対処したかということが今一つできていない。改善したことを示さなければ教職員も意見を言わなくなる。そこで改善が止まってしまっている面がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

- 学校の設備や施設、教室等を外部からの依頼があれば可能な限り貸し出しに応じている。（愛知県理容生活衛生同業組合、愛知理容美容職業訓練校等）
- 学校祭では地域住民の方を招待し、エステやネイル等の技術を一般に提供している。全国理容生活衛生同業組合のキャラクター「バーバーくん」も参加し、会場を盛り上げる。
- 地域と協働する専門学校を目指し、社会貢献プロジェクトとして、福祉ボランティア28年9月より月1回、春日井市の障がい者施設へ卒業生とともに慰問（卒業生やサロンスタッフによるカット施術、在校生は清掃等）を行っている。在校生は現在希望者の参加だが、全員一度は参画できるような仕組みにしたり、逆に障がい者施設の方が学校に来てもらい現場の様子を伝えていただく案も出る。
- 理容ボランティアの日（毎年9月の第2月曜日）に合わせ、学生が千種駅周辺及び千石小学校区の清掃を実施。（以降、毎月1回実施）ボランティアの目的をしっかりと学生に落とし込みをしてから活動しないと反感を持たれてしまう可能性がある。
- 28年度も前年度同様、愛知県赤十字血液センターの献血施設へ出向く。ボランティア活動の中にも、40分で助かる命があることを理解するきっかけ作りになる。
- 地域連携プロジェクトと称し、名古屋市および周辺地域の企業、団体との連携協力を維持・発展させ、アリアーレの特性を生かした社会貢献を行い、地域の要望に応える

よう努めている。28年度は今池商店街連合会と協力し、ブースを設置し「今池まつり」に参加。来場者にハンドマッサージのサービスをする。また、千種区社会福祉協議会様へ赤い羽根の共同募金の協力をする。

(11) 国際交流

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

- 当校では外国人留学生も生徒として受け入れしております。入学に関しましては、法務省入国管理局、文部科学省生涯学習政策局より出ているガイドラインに沿って入学選考し、名古屋入国管理局留学・研修審査部門より「在籍管理が適切に行われていると認められる専修学校専門課程（日本語教育機関を除く）」として選定される。
- 留学生に関しては担当者が6ヶ月に一度、本人と面談をし、生活状況を確認、在留資格のチェックをし記録を残している。
- 留学生が入学するには原則として満18歳以上の、母国等において12年間の学校教育を修了した者で、且つ日本の法務省による在留審査を経て留学の在留資格を得ることが前提としている。
- 外務省領事局領事サービス室からの指導として、外国籍の方で、卒業証明書等を外国で使用する際の証明（認証）については、公証人による証明書を発行している。
- 生徒の技術の向上に関し、技術コンテストには積極的に参加し、入賞を目指している。国際大会に繋がる技能五輪にも選手をおくっている。(10月山形県にて開催)
- 海外研修の際、ロンドン・ヴィダルサスーン研修。